

少なくとも今のままで成東病院を長い年月支えていくには、山武市にとって非常に厳しい状況にあると思います。

経営責任がしっかりと明確にされる地方独立行政法人化を果たし、この地域の医療を担える病院として、経営が確立するように頑張っていきたいと思えます。

個人質問



八角 公二 議員

● 国保成東病院について

Q 昨年12月に、成東病院に派遣している職員4名の人件費を山武市が全額負担したのは条例や規則に従ったものかと質問したが、監査委員の見解と、今年度の人件費の負担分について、どのように処理するかお聞きしたい。

A 市長 病院の業務の人件費を、山武市だけが負担していることについてだが、現状においてやむを得ないというにご理解を求めたい。しかし、それは不明確だとい

う指摘を踏まえて、今年度は病院の予算の中で4市町の負担割合によって負担するようにした。

A 代表監査委員 当該人件費支出については、病院費用として市長が決断したものと考えている。

Q 現在、成東病院の運営経費は、構成市町の負担金だけでは賄えず、追加金を出している状況で、診療科目の縮小についても新聞報道されている。独法化した時の将来ビジョンをお聞きしたい。

A 市長 成東病院の経営形態については、最終的には決まっていない。この地域に必要な医療というものを、山武市が負担できる範囲、経営が成り立つ範囲の中で精査していく問題で、早急にやる仕事である。

Q 平成20年3月の、病院議会では、経営状況に関する報告と提言があり、独立法人化、民営化、指定管理者制度など多岐にわたる提言がされたが、それらについての精査、特に独立法人化に向けての議論をしてきたか確認したい。

A 市長 病院議会の中では経営改善が中心で、独立法人化についての議論を中心にやったということではない。

Q 市長の言うとおり、病院議会ではこの1年余り、成東病院をどのような方向に持っていくか前向きな議論は全くない。にもかかわらず急に、成東病院の解散の話が出てきた。市長は独立法人化に向けてのコンサル委託をしているが、契約の内容をどのような考え方で委託したか。

A 市長 今回の解散・独立法人化のコンサルの業務は、監査法人トーマツと長先生が代表の東日本税理士会の2つにお願いした。特に長先生のほうには、独立法人化・解散という部分をお願いしたと自分としては理解している。

Q 昨年の12月18日の病院が国保成東病院にかわって独立法人化について外部にコンサルタントをかけることが同意された。しかし、移行型でいくか、新設型でいくかは、十分議論してからという意見もあった。今回、コンサル委託契約がかわされるとすぐに、解散の協議会が立ち上が

り、解散の話が先行しているが、どうしてか。

A 市長 急に解散の話が出てきたというが、コンサルをお願ひするときに、すでに、解散含みだ。東金市・九十九里町の言う移行型については前提に解散がある。解散・独立法人化の方向性は確認されていると思うている。

Q 解散先行だというが、九十九里町は早期の解散を主張しているし、東金市長は病院を解散したあとは抜けるので口出しするつもりはないと言っている。したがって、解散後の病院のあり方については、山武市が考えることなので、解散協議会の長隆会長も解散を急いでいると理解している。

Q 解散協議会の協議文書の中に、船頭多くして船山に登るといったとえがあったが、国保成東病院という船には、構成市町民が負担金という船賃を払って乗っているわけで、船頭の意見の違いで船が進めないのは無責任だと思いがいかか。

A 市長 船頭の半数は、この船を、山ではないが海から引き揚げて廃船にしろとも言っているようだ。だが

ら、できるだけ早くこの船を航行できる船頭が、この船を動かす状況を作ることが大事だと思っている。

Q 解散が先行しているが、その後は、市長は山武市が経営する公設公営の病院をめざしているのだからある程度の構想を持っていると思うがいかかか。

A 市長 退職金の特別負担が議論に乗っているように、非公務員型の独立法人化をめざしている。新しい理事長が人事権、予算権を持つが理事長については、今の院長を第一候補と考えている。

Q 東日本税理士法人と監査法人トーマツとのコンサル契約を確認すると契約の期間がどちらも3月31日から

